下図は「1kg/箱」「500g/袋」「バラ」を登録した状態です。 「500g/袋」は「0.5kg/袋」と入力することで登録できます。 また、「バラ」のように重量を入力しない場合も登録できます。

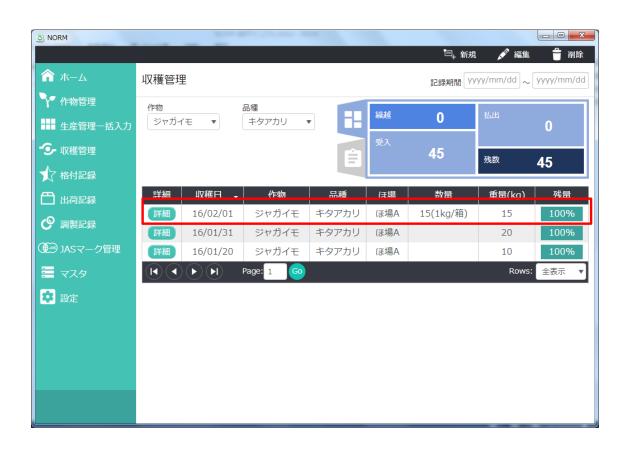


荷口形態を登録した後、「数量」を入力して「総量(kg)」の入力欄を押すと、荷口形態と数量から自動的に総量を計算します。

(「数量」の入力欄以外を押しても自動計算されます。)

※「数量」は整数で、「総量(kg)」は少数第2位まで入力できます

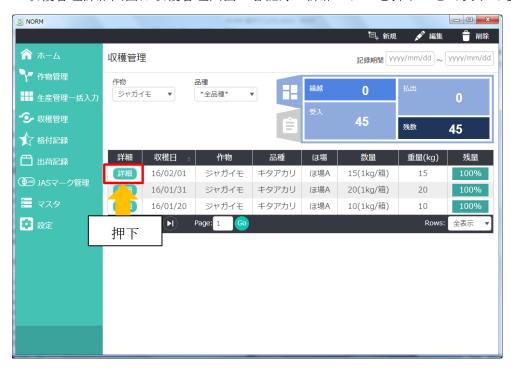
(3) OK ボタンを押して記録を追加します。生産管理記録と作物管理画面の両方に反映されます。





## 7. 格付管理記録・出荷管理記録の作成

格付管理記録と出荷管理記録は「収穫管理詳細画面」で設定することができます。収穫管理詳細画面は収穫管理画面の各記録の詳細ボタンを押すことで表示できます。

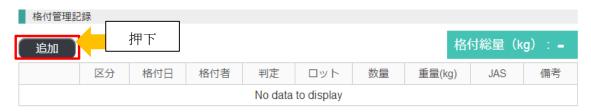


収穫詳細画面が表示されます。



出荷可能残量は、収穫した作物の中でまだ出荷も破棄もされていない作物の残量が表示されます。また格付総量に関しては 146 ページで詳細な説明を行います。

(1)格付管理記録を追加します。格付管理記録の追加ボタンを押すと編集画面が表示されます。



\*印が付いた項目が必須項目です。



- ※「総量(kg)」は少数第2位まで入力できます。
- ※「数量」「JAS マーク(枚)」は整数で入 力できます。

「JASマーク(枚)」には、JASマークの種類を登録することができます。 下図のように、「シール」という JASマークの種類があらかじめ登録されています。



「JASマーク(枚)」は、JASマークの種類が1種類の場合と、複数種類がある場合で入力の仕方が変わります。

(※JASマークの種類が複数ある場合、114ページを参照してください。)

1種類の場合、編集画面の「JASマーク(枚)」の入力欄に枚数を入力します。

※「JASマーク(枚)」は整数のみ入力できます。



また「出荷」ボタンを押すと、出荷管理記録の編集画面が表示されます。



(2) 出荷管理記録を追加します。出荷管理記録の「追加」ボタンを押すと下記の画面が表示されます。ロット番号 G000-1 の格付をおこなう場合は上のチェックボックスにチェックをつけます。格付けをせずに出荷した場合は関連付けなしを選択して「OK」ボタンを押します。



(3) 出荷の編集画面を表示されます。以下のように値を入力します。 \* 印が付いた項目が必須項目です。



- ※「出荷先」「JAS マーク」「荷口形態」 の登録については、20 ページを参 照してください。
  - ※「総量(kg)」は少数第2位まで入力できます。
  - ※「数量」「JAS マーク(枚)」は整数で 入力できます。
  - **※JAS**マークの種類が複数ある場合、114 ページを参照してください。

(4)「OK」ボタンを押すと以下のように表示されます



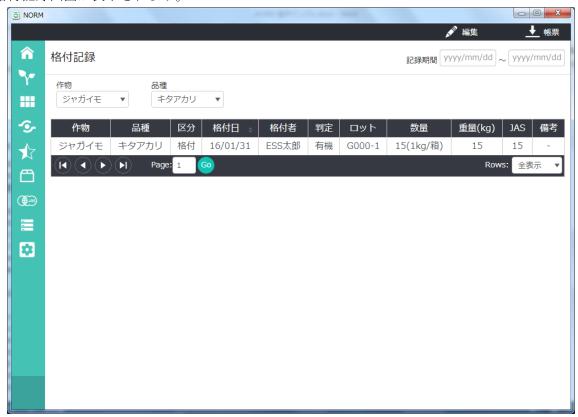
(5)格付管理記録の一覧を確認します。ホーム画面の「格付記録」を選択します。



※ホーム画面以外からは、右図のようにメニューの 「格付記録」を選択します。



格付記録画面が表示されます。



下図は、画面上部にある作物のドロップダウンです。

ここには、作物管理画面で生産作物として登録した作物が表示されます。



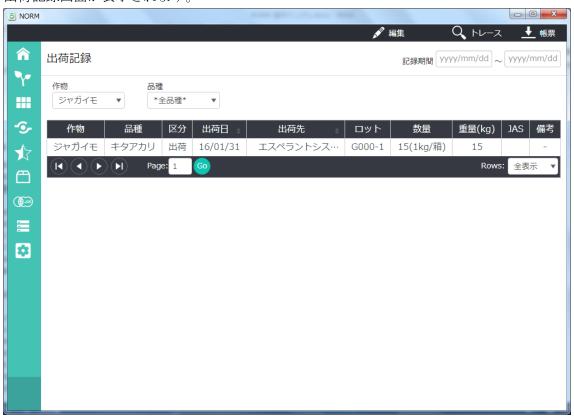
(6) 出荷管理記録の一覧を確認します。ホーム画面の「出荷記録」を選択します。



※ホーム画面以外からは、右図のようにメニューの 「出荷記録」を選択します。



出荷記録画面が表示されます。



## 8. JAS マーク管理記録の作成

(1) ホーム画面の「JASマーク管理」を選択します。



※ホーム画面以外からは、右図のようにメニューの「JASマーク管理」を選択します。



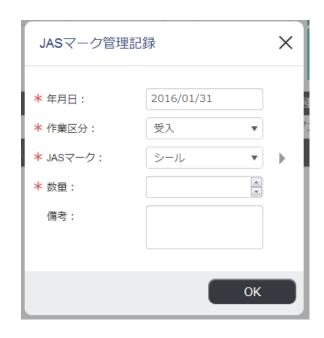
下図のように、JASマーク管理記録画面が表示されます。



画面の右上には、下図のように JAS マークの在庫が表示されます。



(1) JASマーク管理記録を追加します。 画面下部の「新規」ボタンを押して、編集画面を表示させます。 \*印が付いた項目が必須項目です。



- ※「JASマーク」の登録については、20 ページを参照してください。
- ※「総量(kg)」は整数で入力できます。

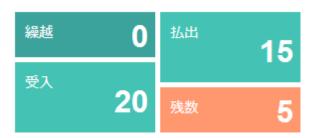
「作業区分」のドロップダウンでは、新しく JAS マークを取得した場合は「受入」、JAS マークを破棄した場合は「破棄」を選択します。



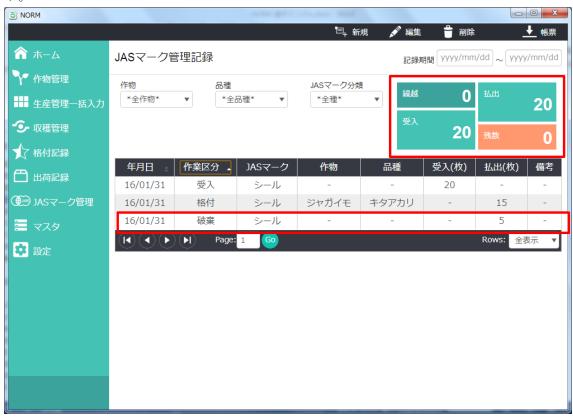
「作業区分」で「受入」を選択して記録(行)を追加した場合、下図のように表示されます。



 ${
m JAS}$  マークの在庫量は以下のように変化します。「受入」の 20 枚のうち「払出」で 15 枚使用しているため、残数が「5」と表示されます。



また、作業区分の「破棄」を選択すると、破棄分の JAS マークは「払出」の扱いとなります。



もし、手元にある JAS マークの残数が入力した残数よりも多くなってしまった場合は「区分」に受入を選択して備考に棚卸減耗等の内容を記載して対応するようにしてださい(少ない場合は「区分」に破棄を選択してください)。

## 9. 調製管理記録作成の作成

設定画面で栽培作物に「水稲」「茶」「大豆」「小麦」を選択した場合、また、「調製記録」を選択した場合に調製管理記録を作成することができます。





下図のように、ホーム画面とメニューにそれぞれ「調製管理」ボタンが表示されます。





調製管理記録を作成するために、まず収穫管理画面を表示します。 ホーム画面の「収穫管理」を選択します。



「詳細」ボタンを選択します。



調製管理記録が表示されます。



(2) 調製管理記録の「追加」ボタンを押します。出荷時と同様に下記の画面が表示されます。ロット番号 YKT-0001 の格付をおこなう場合は上のチェックボックスにチェックをつけます。格付けをせずに出荷した場合は関連付けなしを選択して「OK」ボタンを押します。



(3)「OK」ボタンを押すと調製記録画面が表示されます。 \*印が付いた項目が必須項目です。



- ※「作業内容」の登録については、20ペ ージを参照してください。
- ※「原材料数量 (kg)」「出来高数量 (kg)」 は少数第2位まで入力できます。

(4)「OK」ボタンを押すと調製管理記録に追加されます。

